

検査部にて臨床検査を受けた患者さんとそのご家族へ

当院では、当院外来受診および入院された患者さんで、検体検査室で臨床検査（採血）を受けられた方を対象として、臨床検査に使用する新規測定試薬および測定機器の評価を目的とした研究を実施しています。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究への協力を希望されない方は、末尾のご案内（【研究協力を希望されない方】）をご確認いただいたうえで、末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

検査部における新規測定試薬および測定機器の評価（包括的申請）（2019300NI）
生化学自動分析装置による関節リウマチマーカー測定試薬の基礎性能評価（追加申請）
（審査番号 2019300NI-23）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学附属病院 検査部
研究責任者 検査部臨床検査技師 小林真衣
担当業務 試料収集・データ収集・仮名加工・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 富士フィルム和光純薬株式会社
研究責任者 臨床検査薬開発部 課長 中田裕美子
担当業務 試薬及び医療機器の提供、研究、検査の実施及びデータ解析補助

【研究期間】 承認日～2027年3月31日

【対象となる方】

承認日～ 当院外来受診および入院された患者さんで、検体検査室で臨床検査（採血）を受けられた方が対象となります。通常診療の一環として提出された検体の廃棄前の残余検体・検査記録（診療記録等含む）を使用するため※、採血量が増えることもなく、本研究により新たな侵襲は加わりません。

※ 検体については、再検査に備えて一定期間（血清 3 週間）保存の後に廃棄しています。

【研究の意義】

臨床検査分野における測定試薬および機器の進歩は日進月歩であります。新たに開発された測定試薬および機器につきましては、その性能の評価とともに、既存の試薬および機器との比較検討が必要となります。

【研究の目的】

東京大学医学部附属病院検査部では、日常診療の質向上を目的として、臨床検査法の開発・改良や異常値が発生する機序の解明など、さまざまな研究を行っております。この研究活動の基礎となるのが、臨床検査を終了した残余検体・検査記録（診療記録等含む）の再利用です。残余検体・検査記録（診療記録等含む）の再利用に当たっては「臨床検査を終了した残余 検体（既存試料）の業務、教育、研究のための使用について－日本臨床検査医学会の見解－2017年改訂」を遵守して行うことが、包括的申請として承認されています（2019300NI）。

今回の研究では、富士フィルム和光純薬株式会社が現在開発している関節リウマチマーカー(MMP-3)測定試薬は、より広い測定範囲で検査でき、検査時時間の短縮と臨床へより迅速な結果報告が期待できることから、本研究では、関節リウマチマーカー(MMP-3)測定試薬の基礎性能の評価を行います。

【研究の方法】

日常の臨床検査に依頼された残余検体を使用し、最小検出感度、共存物質の影響、再現性、希釈直線性、相関性についての基礎的検討を行います。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。また、予期しない結果が認められた場合など、その詳細な解析が必要な場合には、試料やデータがどなたのものかわからないようにした上で、試料や測定結果などのデータを共同研究機関（富士フィルム和光純薬株式会社）に送付することがあります。

特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当検査部において研究責任者が、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。そのため、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

【利益相反管理】

この包括的申請の枠内で、受託研究研究契約・共同研究契約等の基づき実施される個々の研究計画につきましては、研究資金・薬剤・機器の提供を受けて実施する場合はございます。その場合、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行い実施します。研究の実施や報告の際に、研究資金・薬剤・機器等の提供元に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。今回の研究に関する費用は、富士フィルム和光純薬株式会社から支出されています。

○本研究は、富士フィルム和光純薬株式会社より研究資金・機器の提供を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

○本研究は、富士フィルム和光純薬株式会社より研究資金・機器等の提供を受けて実施いたしますが、研究の実施や報告の際に、富士フィルム和光純薬株式会社に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。また、この研究で権利が発生した場合は東京大学または富士フィルム和光純薬株式会社に帰属するものとし、あなたへの謝金はございません。

【研究協力を希望されない方】

★この研究のためにご自分（ご家族）の残余検体・検査記録（診療記録等含む）を使用してほしくない場合は、主治医または検体採取時にお伝えいただくか、各検体の保存期間終了前（血清 3 週間）までに、下記の研究担当者までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等により発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。ご不明な点がございましたら主治医または研究担当者へお尋ねください。

2024 年 12 月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院検査部 小林真衣

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35024）

FAX：03-5800-8630

E メールでのお問い合わせ：kobayashim-lab@h.u-tokyo.ac.jp